

エコライフ・フェア 2014「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」 活動報告

2014年6月26日

「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」実行委員会

【概要】

2014年6月7日～8日に環境省主催のイベント「エコライフ・フェア 2014」が東京・渋谷の代々木公園（ケヤキ並木・イベント広場）にて開催されました。ラムサール条約登録湿地関係市町村会議（市町村会議）、ラムサールセンター（RCJ）、および日本国際湿地保全連合（WIJ）の3団体を実行委員会とし、「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」と題してブースを出展しました。エコライフ・フェア 2014 運営事務局の集計によると、エコライフ・フェア 2014 全体の来場者は2日間で約26,000人でした。1日目は雨天、2日目も時おり小雨が降り、例年と比べて少ない来場者数となりました。

ブースには、国内46箇所のラムサール条約湿地やその他の湿地に関する自治体・団体から、有志の26団体が参加し、各湿地の展示を行いました。各湿地の見どころや活動を掲載したポスターやチラシが寄せられ、湿地に関する物産の展示や販売を行いました。また、国内46箇所のラムサール条約湿地のチラシについては、環境省の協力を得ることができました。

当日は、担当者を派遣した参加団体（9団体）をはじめとして、市町村会議担当者、RCJ スタッフ、WIJ スタッフ、学生ボランティアなど2日間でのべ約50名が参加し、ブースを訪れた来場者にラムサール条約湿地の特徴や観光名所、物産、その他の湿地、関係団体の活動などについて説明、PRしました。また、来場者や関係者に各湿地や参加団体の活動などアピールする時間を個別に設けました。その他、湿地クイズを実施しました。

【イベントの様子】



ブース全体の様子



湿地、活動などをアピールする時間の様子



ポスター、パネル展示の一例



展示の一例



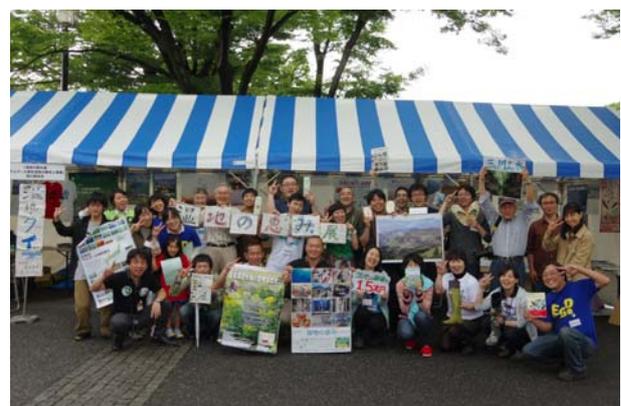
湿地クイズの様子



交流会での地酒の説明



担当者による各湿地等のPR



イベント終了時の集合写真

【交流会】

1日目(6月7日)の夜に、参加団体、実行委員会、ボランティアなどによる交流会を開催しました。約40名が参加し、全国各地の湿地関係者が交流する機会となりました。参加団体から提供いただいた湿地の恵みであるお酒や食品の試飲・試食会も兼ねて行い、各自に持参いただいた物の魅力などを語っていただきました。

【所感】

雨天のためエコライフ・フェア 2014 全体の来場者数が昨年の 3 分の 1 と少なかったものの、ブースの来場者に対してラムサール条約登録湿地などの物産や観光、湿地に関する自治体やその他の団体の活動をアピールする機会となりました。湿地クイズについてはクロスワードなどを準備し、子どもから大人まで生き物の名前を見つけてもらうなど楽しんでもらい、湿地と生き物に関する普及啓発を幅広く行うことができました。今年は参加団体による湿地や活動をアピールする時間を設けたところ、ブースを訪れた来場者だけではなく関係者にとっても学ぶことが多かったように感じました。また、ブースと関連して、劇団シンデレラによる持続可能な開発のための教育（ESD）のステージやパフォーマンスを通して交流いただいた参加団体もあったようです。

実行委員会である市町村会議、RCJ、WIJ では今後もこのような機会を設けていきたいと考えています。その際は関係自治体、団体の方々に積極的に関わっていただき、湿地に関する各地域の振興、団体の広報に役立てば幸いです。

参加団体一覧

	参加団体名	条約湿地名	担当者の派遣
1	サロベツ・エコ・ネットワーク	サロベツ原野	○
2	雨竜沼湿原を愛する会	雨竜沼湿原	-
3	苫小牧市	ウトナイ湖	-
4	網走市	濤沸湖	-
5	別海町産業振興部商工観光課	野付半島・野付湾	-
6	釧路市	釧路湿原	-
7	三沢市	仏沼	-
8	大崎市	蕪栗沼・周辺水田、化女沼	-
9	新潟市	佐潟	-
10	小山市	渡良瀬遊水地	○
11	栃木市	渡良瀬遊水地	○
12	習志野市谷津干潟自然観察センター	谷津干潟	-
13	立山町	立山弥陀ヶ原・大日平	-
14	加賀市	片野鴨池	-
15	若狭町	三方五湖	-
16	名古屋市	藤前干潟	-
17	藤前干潟を守る会	藤前干潟	○
18	豊岡市	円山川下流域・周辺水田	○
19	九重町	夕凧原湿原	-
20	荒尾市	荒尾干潟	-
21	那覇市	漫湖	-
22	滋賀県農政水産部農村振興課	-	-
23	ちいさな虫や草やいきものたちを支える会	-	○
24	中之条町	-	○
25	日本野鳥の会	-	○
26	メープル・ツアーズ	-	○